

第二章 契約

I 神学的契約

1 業の契約

神とアダムとの間に交わされた契約で、その条件は神への服従であった。アダムが神に従うなら彼の霊的状态は保証され、永遠のいのちを受けるということであった。

2 贖いの契約

先の契約においてアダムが失敗し、人類が呪いのうちにおかれてしまったので、その救済として恵みの契約が交わされた。その中の神に対するものが贖いの契約である。それは父なる神と御子との間に交わされたもので、信じるものを救い贖うために、御子の犠牲を受け入れることを約束されたのである。

3 恩恵の契約

恵みの契約の人間に対するものである。キリストは契約の仲介者として、また、キリストに信頼をおく者たちの代表者として考えられる。個人はイエス・キリストを救い主として信じる時に、この契約の条件を満たすのである。

このような契約は「契約神学」という神学体系に属するが、「ディスペンセーション主義」においては人間の歴史を一貫する神の根本的な目的を明らかにし、神の救いの計画を含む八つの聖書にある契約を通して歴史を考察する。

II 聖書の中の契約

聖書の中の契約は、二つの分類のどちらかに属する。すなわち条件付のものと、無条件のものである。聖書の中の八つの契約の中で、エデンの契約とモーセの契約だけが条件付である。

1 エデンの契約（創世 1：26－31、2：16－17）

アダムとの条件付契約。生命と祝福、死とのろいとがアダムの忠実さにかかっていた。

これは、アダムに対して、人類の父となり、地を征服し、動物を支配し、園の管理をし、善悪の知識の木の実を食べないという責任が付与されていた。しかし、アダムは失敗し、霊的に死に、救われるためには新しく生まれる必要があった。後に彼らは肉体的にも死んだ。彼らの罪は全人類を罪と死のパターンに投げ込んだのである。

2 アダムの契約（創世 3：16－19）

墮罪以後に人との間に結ばれた無条件の契約。人がその罪のゆえにその生涯においてどのような運命をたどるかを、神が宣言している。この中には、へびがのろわれる。贖い主の約束。産みの苦しみと、かしらとしての男に従わねばならない女性の立場。労苦して糧を得なければならない。最終的には死に至るものとなる。ということが含まれる。

3 ノアの契約（創世 9：1－18）

罪を抑制する手段として人間による統治という新しい原則を導入した。無条件の契約。

契約の条項は、人間による統治の原則の確立を含んでいた。（死罪が定められたこと）自然の秩序の再確認。菜食から肉食の許可が与えられた。

4 アブラハムの契約（創世 12：1-4、13：14-17、15：1-7、17：1-8）

未来の歴史に関する神の大いなる啓示の一つ。三つの面で深い意味をもった約束がこ
の中で与えられた。第一に、アブラハムに対し、彼が無数の子孫を持つであろうこと。
大いに祝福されること。その名が大いなるものとなること。彼自身が祝福となること。
という約束が与えられた。第二に、アブラハムを通して大いなる国民が出現するという
約束が与えられた。第三に、アブラハムを通して全世界に祝福がもたらされるという約
束。これはイスラエルが神からの啓示の特別の媒体となる事を示している。預言者、聖
書記者を生み出し、諸国への祝福はキリストを通して与えられる。

5 モーセの契約（出エジ 20：1-31：18）

神はモーセにご自分とイスラエルの民との関係の基準となる律法を与えられた。それ
は、①神の明確なみこころを内容とする戒め。（出エジ 20：1-26）②イスラエルの社
会、市民生活にかかわる裁定。（出エジ 21：1-24：11）③儀式制度。（出エジ 24：
12-31：18）という三つの主要な区分に分けられる。これは条件付契約であって、イ
スラエルが従えば祝福を受け、従わなければ懲らしめを受けるという原則を盛り込んで
いた。

6 パレスチナの契約（申命 30：1-10）

イスラエルの最終的土地領有に関する無条件の契約。神がアブラハムに約束されたに
もかわらず、イスラエルは何百年もエジプトに暮らした。また、後になって神の律法
に従わず、アッシリヤとバビロンに補囚となって連れて行かれた。帰還後、AD70年に
エルサレムが陥落し、再びその地を失った。現在、イスラエルがその国土に戻っている
ことは意味深い。イエス・キリストが再臨し、ご自身の王国を設立された後にイスラエ
ルの帰還は最後の一人まで完全に実現する。

7 ダビデの契約（Ⅱサム 7：4-16、Ⅰ歴代 17：3-15）

神がダビデに対して、絶えることのない家系、王座、王国を永遠に約束された無条件
の契約。神の御子であり、ダビデの子でもあるキリストは、王位の正当な継承者であり、
やがてその王座に着かれる方であり、ひとりの子が永遠に王座に着くというダビデへの
この約束を成就される。ダビデ契約は、キリストが地上で治められる千年王国を確約す
るものとして極めて重要である。この契約は天上の王座で治めておられるキリストによ
っては成就されない。ゆえにこの契約はこれから成就される神の預言のプログラムの鍵
なのである。

8 新しい契約（エレミヤ 31：31-33）

これは「イスラエルの家とユダの家とに」対して結ばれた新しい契約である。これは
千年王国を予期している。新約聖書もまた教会と「新しい契約」を関連づけているため、
一部の人達は教会がイスラエルに与えられた契約を成就するのだと考える。将来のイス
ラエルの回復と千年王国を認める人達は、新約聖書のいう新しい契約を、イスラエルと
の未来の契約の一般真理を教会に適用したものか、別の二つの契約かに考える。そのど
ちらであっても、新しい契約は流された御子の血を根拠にして、神のみこころ、すなわ
ち①神がキリストを信じたものを救い、守り、天の御国において御子に似た者としてく
ださること。②イスラエルの救いは無条件の新しい契約のもとに約束されている。こと
を保証する。